

第20回 シドニー・ビエンナーレ（国際的美術展覧会）に 京都府立図書館所蔵の貴重資料が出展！！

府立図書館が所蔵している貴重資料3点が、京都府在住の美術家中村裕太氏により海を渡り、南半球において海外の人々に公開されます。

1. シドニー・ビエンナーレ（1973年創設）

◆ 第20回 開催地：オーストラリア連邦シドニー市内

会期：2016年3月～7月

◆ アジア太平洋地域で最大の現代美術イベントであり、
前回の第19回では、31ヶ国・91名の作家が参加し、約62万人が来場している。

<https://www.biennaleofsydney.com.au/20bos/> http://haps-kyoto.com/nakamura_aptandsydney/

2. 公開資料概要

◆ 大森貝塚の発見などで有名なエドワード・モースにより1901年、1917年に刊行された書籍。

◆ エドワード・モース自身が19世紀後半の日本各地をめぐって
集めた陶器を整理・掲載したカタログと、その時期の日記。

「Catalogue of the Morse Collection of Japanese pottery」（背景写真）

「Japan day by day v.1」 「Japan day by day v.2」

3. 中村裕太氏

美術家 京都精華大学芸術研究科博士後期課程を

2011年に修了 博士（芸術）

〈民俗と建築にまつわる工芸〉という視点から

タイル、陶磁器などの理論と制作に従事。

<http://nakamurayuta.jp/>



調査の様子 (photo by Nobutada Omote)